

### あきる野市 郷土の恵みの森づくり 基本計画を策定しました

市では、平成22年3月に「あきる野市郷土の恵みの森構想」を策定し、環境都市あきる野の実現に向けて協働による森づくり、地域づくりを進めています。この取組を推進するため、平成23年度から27年度までの5年間を計画期間とする「あきる野市郷土の恵みの森づくり基本計画」を策定しました。

基本計画の閲覧場所 情報公開コーナー(市役所4階) 環境の森推進室 五日市出張所、中央公民館、各図書館 市ホームページにも掲載しています。 問合せ 環境の森推進室



市営住宅の空家待ち 入居希望 登録者 募集

本計画の主な施策 経済の森づくり施策の展開 地域との協働による昔道・尾根道整備、景観整備 生態系及び地域資源調査 森林サポーターレンジャーの充実 環境教育の充実 森の子コレンジャーの設置

### 東日本大震災支援情報

避難者支援カード「グリーンハートカード」を発行します 市では、震災による影響から市内に避難された方に「グリーンハートカード」を発行し、るのバスの乗車や市施設利用などのサービスを提供します。 対象 震災の影響により市内に避難された方 利用のできるサービス

市内巡回バス(るのバス)の無料乗車 図書館の利用(利用者カードの発行) 体育施設(個人利用)の無料使用 秋川キララホールでの市主催事業の無料観覧 など 申込み方法 直接市民課 市民相談窓口係に申し出て下さい。 運転免許証など住所確認のできるものがある場合は、窓口にお持ちください。

市営住宅で部屋が空いたときに、希望者が速やかに入居できるよう、前もって入居の順番を登録する制度です。 登録しても登録有効期間内の状況で、必ず入居できるとは限りません。 登録募集する市営住宅表のとおり 申込み資格など 市内に1年以上在住・在勤の方(所得制限、抽選倍率に優遇資格などがあります。詳しくは、「募集案内」をご覧ください) 募集案内配布期間など

表 登録募集する市営住宅

住宅名	所在地	管理開始年度	間取りなど	家賃	構造
秋留野ハイツ	秋川3-2-7	平成元年度	2DK (53㎡)	21,000円~41,300円	中層耐火
			3DK (63㎡)	25,200円~49,500円	
伊奈ハイツ	伊奈1041	平成14年度	2DK (67.8㎡)	27,000円~53,000円	
			3DK (73.45㎡)	29,200円~57,400円	
山田ハイツ*	山田822	平成17年度	2DK (66㎡)	26,400円~51,800円	
			3DK (74.75㎡)	30,100円~59,000円	
雨間ハイツ*	雨間533-1	平成5年度	1DK (46㎡)	19,200円~37,700円	
			1LDK (46㎡)	19,300円~37,900円	
			2DK (54㎡)	22,700円~44,500円	

\*印の建物には、エレベーターが有ります。 家賃...平成23年度入居審査時に世帯の総所得額などで決定します。家賃の額は、毎年度審査しますので、その年により変わることがあります。 敷金...家賃の額の3か月分に相当する額です(入居手続きのとき)。 雨間ハイツは、高齢者向け住宅です。詳しくは、募集案内をご覧ください。

市内に避難されている方の連絡をお待ちしています

市では、震災の影響により市内に避難されている方の情報(住所・氏名など)を集めています。申し出ていただいた情報は、避難の前にお住まいだった県や市町村に提供します。ご協力をお願いします。 申込み 市民課市民相談窓口係 問合せ 企画政策課

### 障がいがある方などの軽自動車税が免除になります



障がいがある方のために使用する軽自動車など

申請に必要なもの 軽自動車税納税通知書 交付を受けている手帳はんこ 運転免許証(免除を受ける軽自動車を運転される方のもの) 申請期限 納税通知書到着後、5月24日(火)まで 減免は、障害者1人につき1台に限られます。また、普通自動車の減免を受けている方は受けられません。 申請・問合せ 課税課市民係(直通558・1682)

### あきる野市消防団 新役員が決まりました



4月1日から市消防団の役員が新体制になりました。消防団長には、上野章氏が就任しました。また、副団長に佐藤澄雄氏、鈴木盛哉氏、窪島秀夫氏、田中登氏が就任しました。 各分団の分団長は、次のとおりです。(敬称略) 第1分団長...長谷川泰造 第2分団長...竹内徹 第3分団長...中村勝雅 第4分団長...峯岸一也 第5分団長...榎本義晴 第6分団長...山下哲央 第7分団長...田中寛之 問合せ 地域防災課防災安全係



田中登氏 窪島秀夫氏 鈴木盛哉氏 佐藤澄雄氏 上野章氏

### 市長コラム

No.35

今年の春は未曾有の大震災に始まり、新緑の5月となり、北の被災地から、子どもたちが入学式に参列したニュースが送られて来て、現地の人々の復興に向かう様子がうかがえ、胸に熱いものを感じました。是非一日も早く立ち直るよう国民みんなで応援して行きましょう。あきる野市が被災者支援の募金活動をしていきますが、町内会・自治会や各種団体などの協力で大きな輪に広がりました。4月の中間集計で3千5百万円となり、目標額の1千7百万円を大幅に上回りました。本当にありがとうございます。市民の皆さんがこの災害のもたらした事の重大さを真実を持って受け留めたのだと思います。また、様々な行事の自粛などがあり、あの痛まし

い光景にみんな打ちひしがれ、被害を共有する日本人の心は一つになっていました。3月11日から50日がたち大災害を経験した日本人々は新しい価値観を持つて、新しい生き方を始めようとしているように思われます。 ある新聞の読者の声の記事が目にとまりました。被災者の皆さんが厳しい避難所生活でお互いを家族や隣人のように思いやり、高齢者が助け合っている姿がありました。そして、町に残る決心と故郷を大切に思う気持ちが語られていたことに感動したこの人は、これからは近所で買い物をすることにした」と言っています。みんながこんな気持ちになつたら商店街も助かるし、地域は安心と活気をきつと取り戻せるはず。気が付けば地域社会とは人と人の助け合いの現場だったのです。

### 白井 孝

あきる野市長

子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌 子どもの任意 予防接種の公費 助成を開始 3種類のワクチンについて、接種費用の約9割の公費助成を始めました。 子宮頸がん予防ワクチンは、子宮頸がんの原因であるヒトパピローマウイルスの感染を予防し、ヒブ、肺炎球菌は、乳幼児がかかる重篤な後遺症が残る可能性のある細菌性髄膜炎を予防するためのものです。ワクチンは、接種する医療機関で説明を受け保護者の判断で接種する任意の予防接種です。 公費接種の期間 4月1日~平成24年3月31日

ワクチンの種類 子宮頸がん予防ワクチン \*対象者:市内在住の中学生1年生(13歳相当)から高校1年生(16歳相当)の女子 \*接種回数:1回から4回(表2、3) \*自己負担額(1回あたり):ヒブ:880円、小児用肺炎球菌:1120円

接種方法:市内指定医療機関(表1)で接種 問合せ 健康課母子・予防係(直通558・1191)